

建設通信新聞

仕事と資格 醍醐味とやりがい

日本測量協会の最上位の技術者資格である「空間情報総括監理技術者」の任意団体スペシャリストの会(S.Pの会)に所属する、谷口理恵さんと杉森純子さん、清宮奈美さん。技術士、空間情報総括監理技術者、測量士といった三つの資格を取得し、国内外で活躍している3人に「仕事と資格 醍醐味とやりがい」をテーマに語り合ってもらった。

カナリヤ通信

第70号



谷口 理恵さん



杉森 純子さん



清宮 奈美さん

バスコ中央事業部
海外技術室主任技師

入社してから今まで、どのよう仕事をしてきましたか
谷口 1990年に国際航業に入社し公園等開発の設計の仕事をしていました。育児休業から復帰してからは、区画整理事業や空間情報を使った緑地調査に携わってきました。この4月から初めて転居を伴う異動となり、子どもが成人したこともあって沖縄に単身赴任しています。

杉森 私は1995年に朝日航洋に入社し、地形図の作成に携わってきました。航空写真をもとに図化機を使って地図を描く仕事です。入社3年目にODD(政府開発援助)事業でカザフスタンの地形図作成の仕事の担当になったことをきっかけに、海外畑を歩んできました。その後、子どもの出産のたびに営業や企画などに配置転換となりましたが、海外の仕事も継続して担当していました。2015年にがんを患えたことをきっかけに、海外業務から遠ざかり、その後、コロナウイルス感染症拡大もあってこのころから、内勤での仕事に従事しています。

清宮 1997年にバスコに入社し、最初の約3年間は道路や公園の計画・設計に携わりました。その後、民間企業向けにGISを活用したビジネスツールを提供する部署で10年間仕事をしながら、現在も所属して

資格取得は経験の棚卸し

活動の幅と視野が広がる

いる海外技術室へ異動しました。ODAのプロジェクトで開発途上国の地形図や電子基準点の整備などを行っていました。途中、育児休業を休みましたが、子どもを養育に預けながら海外の仕事も続けています。

—三つ(技術士、空間情報総括監理技術者、測量士)の資格を取得していますが、どのように仕事に生かしていますか

谷口 技術士は、建設部門(都市及び地方計画)の資格を取得しました。自治体の発注要件に「管理技術者の資格要件」という項目があるのですが、取得したことで仕事がスムーズに主体的に行えるようになりました。また、沖縄への異動条件の一つが資格保有者でした。受注の際に必要な資格となっていました。杉森 私の技術士資格は応用理学部門(地球物理・地球化学)です。

お問い合わせ
 株式会社日刊建設通信新聞社
 カナリヤ通信編集部
 TEL 03-3260-8711
 FAX 03-3260-8730
 ■意見・感想はkanari@kanasai-news.comまでお寄せください。
 「カナリヤ通信」は、日刊建設通信新聞社の登録商標です。

測量空間情報利用という側面から、座談会形式で女性地理空間情報コンサルタント技術者として活躍している人たちが「仕事を通じてともに学び、学び」をコンセプトとした「女性地理空間情報コンサルタント技術者に必要な技術資格」「技術提案の仕方」「若手技術者の育成」などについてさまざまな視点から語っている。全国で活躍している地理空間情報コンサルタントを目指す人や関連企業の経営者・管理者にも読んでほしい一冊。

女性地理空間情報コンサルに訊け!

スペシャリストの会*編
 日本測量協会・発行
 2,000円(税込み)

*S.Pの会(スペシャリストの会・瀬戸島政博会長)：日本測量協会の最上位の技術者資格である「空間情報総括監理技術者」の任意団体。会員は、2022年3月末時点で373人。本部と8支部(東北・東京・中部・関西・中四国・九州)の組織構成で、地理空間情報技術の指導・普及や関連技術情報の発信、広く地理空間情報技術者の相互連携などを目的として、業界・学協会活動などを推進している。

かかっていると思います。
清宮 私の技術士資格は、総合技術監理部門と建設部門(都市及び地方計画)です。私にとって資格取得は、自分がやってきた業務や経験したことの棚卸しの意味もあります。圖書に記入したり試験の準備をしたりしながらこの数年の出来事振り返り、次のステップをイメージする良い機会だと感じています。

—これから取り組んでいきたいことは
谷口 沖縄では、今までに経験したことのない地域防災計画や強靱化対策の仕事、組織の運営管理も携わっています。ゼロからのスタートとなり、連う経験となりますが勉強にもなりますし、やりがいも感じています。

杉森 社員に対してさまざまな資格を取得するための後押しをしていきたいと考えています。特に入社して間もない人たちは、30・40年もの長い間働き続けることになるので、楽しく仕事をできる環境を整えていかなくてはなりません。また、会社のためだけでなく、本人が自信をもつことができると仕事をしたいという資格を取得し、経験を積み、それを自身の財産にしていければいいと思います。

清宮 できればこれからもODDの仕事に携わりたいと考えています。相手国の政府の関係者や企業の皆さんと一緒に関係国ではありませんが形に残る事業に携われることができれば、やりがいを覚悟しています。仕事と子育ての両立の悩みは多いと思いますが、今後も調整しながら頑張っていきたいと思っています。

—S.Pの会*を通じての活動
谷口 今後、S.Pの会のメンバーで活動していきたいです。いろいろな活動を通してさまざまな方たちと関わりを持ちながら仕事にも生かしていきたいと考えています。

杉森 S.Pの会を通じて、人脈が大きな広がりの仕事の幅が広がりました。だからといって、これからは戻さずして、これからも頑張ります。

清宮 S.Pの会に入社したのをきっかけに、セミナーでの登壇や研修の講師など、さまざまな経験ができたことがなりました。また、活動を通じてさまざまな人が知り合えたことも感謝しています。

—S.Pの会*を通じての活動
 ありがとうございます。